

超薄膜スケルトンはく落防災コーティング

【製品概要】

表面被覆工とはく落防止工の橋梁補修工法

県
活
用
方
針

従来品より機能が優る「やまぐち発新製品」

【優れた機能が発揮できる工事現場】

橋梁補修の設計段階において、以下の条件に合致する場合、工法検討の比較対象とする。

○表面被覆とコンクリート片等のはく落防止の対策が必要となる場合

【スケルトン防災コーティングの特徴】

コンクリート表面が透けて見える

- 点検精度向上
- メンテナンスコストの抑制
- 異常箇所をすばやく特定

繊維が柔らかい

- 細かい部分の施工も可能

シンプルな作業工程と使用材料

- 30～50%工期短縮
- 使用材料は2種類のみ(プライマー不要)

構造物の長寿命化

- 中性化抑止
- 耐候性向上
- 遮水・遮塩性
- その他諸性能

構造物のじん性向上

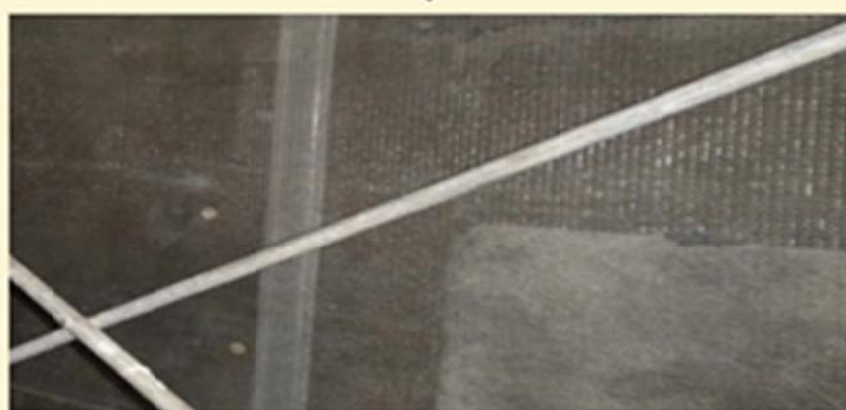
- 構造物の粘り強さ向上・強度再生
- 二次災害の防止

水蒸気透過性

- 防水性を併せ持つ
- 膨れ・内部劣化抑制



塗布前

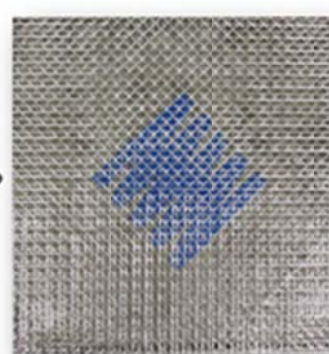


塗布後

スケルトン防災コーティングの透明性



塗布前



ガラス連続繊維シート貼付け



塗布後

【製造者】 (株)エムビーエス・新光産業(株)

【超薄膜スケルトンはく落防災コーティングの概要】

従来の表面保護技術は、紫外線にあまり強くない塗料を使用しており、それを補う方法として施工の最終工程に色付き塗料を施工します。そのため、コンクリート表面を完全に覆い隠す状態となり、コンクリート等の躯体自体に異常をきたした場合、広範囲の表面保護を撤去しなければ異常範囲の特定ができません。

「スケルトン防災コーティング」は、基材である「MBSクリアガード(透明特殊コーティング材)」を優れた強度を有する「ガラス連続繊維シート」に含浸させることにより、0.2mmのクラックや躯体表面の変状が目視確認できるほどの透明度を実現しました。これにより施工後も躯体の表面を目視で確認することが可能となり、変状の発生した箇所をピンポイントで発見できることで小範囲での再補修が可能になります。

また、表面保護工法に必要な強度・耐久性と、はく落防止性能においても第三者機関による厳しい試験でその性能が実証されています。

【モデル事業実績】

H26年度 福浦港金比羅線 橋梁補修工



H26年度 国道437号橋梁補修工事

